

車体工業会 2021年度 設備・治工具類導入事例

	会社名	タイトル	概要	カテゴリー										
				生産能力 増強	維持更新 補強	製品の 質向上	合理化 省力化	省エネ	環境 対応	情報化 自動化	研究 開発	人材 育成	安全性 向上	その他
1	オートワクス京都	救急車生産工程における時間感覚と状態管理改善	①全工程から見えるタクトタイマーの設置②工程お助けボードと全工程に紐スイッチの設置により全工程の時間管理の向上と作業の効率化を実現				○		○					
2	極東開発工業	鉄板プレス加工時のワーク保持用バランサ設置（粉粒体運搬車 タンク部材）	①エアー式バランサの採用により、プレス加工時に発生する材料端部の変位に対してクランプ部の追従が可能となり品質を損なうことなく作業環境の改善を行うことができた。 ②本改善により、部品を受け取る側の作業者だけでプレス加工が可能となり、作業者の削減に繋げることができた。				○					○		
3	極東開発工業	フォークリフトの安全対策	フォークリフトの左右・後部にLEDで危険範囲枠を表示させ、枠内に作業者が近づかない様にした。 ドライバレコーダーを前後に取り付け、運転者の安全意識の向上を図った。										○	
4	東海特装車	フロアフレーム穴あけ作業改善	作業姿勢改善、位置決め治具の採用、工具の改善により作業時間の短縮(22分⇒9分)を実現	○			○							
5	東海特装車	工場内蛍光灯LED化（人感センサー付き）	工場内蛍光灯を人感センサー付きLED照明に更新することによる経費削減、蛍光灯玉廃却のゼロ化					○	○					
6	トヨタ自動車九州	集合配管の空中搬送自働化	部品運搬同士の動線干渉による渋滞の回避の為、集合配管の順立運搬を“空中搬送自働化”して生産性向上を図った		○	○			○					
7	トランテックス	リア扉ハンドル スピンかしめ技術導入	加圧のみでカシメ作業をする従来の油圧かしめよりも、非常に小さな力で大きく変形する事が出来るスピンかしめを導入。					○	○				○	
8	トランテックス	トラックボディ搬送機のケーブルレス化	電源ケーブルと親機と子機を繋ぐケーブル類を廃止させ、ケーブル破損によるライン停止リスクの低減を実現	○										ケーブル類の破損によるライン停止リスク低減
9	日産車体	FRプロペラシャフト破損防止対策 シャシ移動時の安全性向上	クロスメンバーにセットできるアタッチメント製作によりシャシ移動時にFRペラシャフトがフレームに接触しなくなり、安全性の向上を実現			○	○						○	

車体工業会 2021年度 設備・治工具類導入事例